

弓達 秀樹 議員

(一問一答方式)



- ① 肱川水系河川整備計画について
- ② 国道378号線の可能性について
- ③ 通学路の安全対策について

大型排水機場の整備計画とその能力について

問 都谷川終点箇所を整備予定の大型排水機場の概要と、国によって事業費が認められた場合の大型排水機場の概成年度は何年後と考えているのか伺いたい。

答 激特事業による堤防整備により、洪水に対する安全性向上が図られる一方で、内水被害の発生が懸念されることから、この計画では、市内経済の中心で交通網の要所となる東大洲地区における内水被害軽減を図るため、国、県、市がそれぞれの役割で対策を進めることとしています。

排水機場の整備は、国の事業として実施されるもので、既に用地買収は完了し、現在工事発注の準備中と伺っています。排水能力については、1分間に約1,050トンの排水が可能であり、これは喜多小学校のプールと同規模の長さ25メートル、横幅15メートル、深さが1.2メートルのプールで換算すると、満水で約450トンになりますので、30秒足らずで全て排水されることになります。

なお、工事完成時期については、今後の予算の状況により未定ですが、早期完成を目指すと考えています。

長浜港内港埋立予定地への民間事業者誘致について

問 長浜の未来を見据えた内港埋立地には、道の駅だけでなく、民間事業者の参入によって、より相乗効果を図るべきと考えるが、理事者の考えを伺いたい。

答 本事業を進めるに当たっては、官民連携手法の導入を積極的に検討することとし、埋立ての進捗状況に併せ、施設整備に対する民間事業者への意向確認や事業内容、事業手法について、サウンディング

型市場調査や導入可能性調査などを実施し、最適な事業手法や民間事業者が参入しやすい条件整備について、今後関係機関や地元の皆様と協議を重ねながら検討していきたいと考えています。

今後埋立免許を取得し、埋立造成が進み、民間事業者から具体的な参画の意向等があるなど、現在の土地利用計画では対応ができない状況となり、土地利用計画の見直しや変更を行うことが市民の皆様にとってより有益であると判断した場合は、愛媛県をはじめ、関係機関と協議を行い、可能な限り調整を図っていきたいと考えています。

若宮地区(市道若宮畑の前線)の安全確保策について

問 通学路である市道若宮畑の前線は道幅が狭く、安全対策を早期に図る必要があると感じている。子どもたちにとって、安心して通学・帰宅ができる道になるよう対策を行っていただきたいが、理事者の考えを伺いたい。

答 現地では、運転者に注意喚起するものとして、車道と路側帯の境界を明確にするグリーンベルトや路面上に通学路児童注意の文字を描いた道路標示、さらには時速30キロメートルの速度規制や徐行を促す標識などの設置を確認しています。

しかしながら、この区間の速度規制の認識低下が懸念されており、また道路の曲線部分が見通しも悪く、危険度を増すことから、昨今の交通事故状況から鑑みて、運転者にさらなる交通ルールの遵守徹底や、思いやり運転の推奨などの対策が求められます。

本市では、大洲市通学路安全推進連絡協議会において通学路の安全対策や実施状況の確認などを行っており、各小中学校や保護者から要望のあった通学路危険箇所については、該当校と本協議会で現状を把握するとともに、合同点検を実施して対応方法を協議・検討しています。

今年度の通学路合同点検において、今回指摘のあった危険箇所の再点検を実施し、本協議会で具体的な対策を協議・検討していく考えです。

今後、この通学路をはじめとする市内の通学路危険箇所については、その情報を関係機関と共有し、協議・検討を重ね、危険度が高い道路曲線部分に通学路・児童注意の道路標示を増やすなど、必要な対策を積極的に講じていきたいと考えています。